

教えて！
ベンチャー企業

成長の秘密

シースタイル

東京都中央区

「一緒に伸ばしていこう!」「伸びしろはまだまだくらでもある」。創業間もないベンチャーには、ともに成長できる若い人材の存在は必須である。シースタイルは、プロパーの若手スタッフが約4割を占める会社。そんな同社の飛躍の秘訣は、「人材育成」と「福利厚生」の制度化にあった。

58講座の研修を用意 新卒を即戦力にする育成制度

「社員にはより効率的に仕事をしてもらいたい。そのためには、会社として必要に応じて提供したいと思っていますが、当然、その成果は求めています」

こう話すのは、多数の不動産メディアを運営するシースタイル（東京都中央区）の川



川合大無 社長 (41)

合大無社長だ。同社が手がけるインターネットサービス「スマイスター」は、不動産業界に特化したさまざまなサービスを提供。具体的には不動産売却の査定や買取査定、任意売却や賃貸管理、土地活用やマンション管理、ビルメンテナンスなど、カテゴリ別に13個のWebサイトを運営している。

そんな同社は設立14年目。現在は70名の従業員を抱える企業までになったが、その飛躍の要因は、まさしくこうした従業員たちのスキルアップによるものだ。若手社員をいかに伸ばすが、カギを握るわけだが、同社では4年前から社内での緻密な教育制度を敷いている。

「当社の育成制度は新卒がメインとなりますが、研修内容としては58講座を用意しています。社会人としての基礎であるビジネスマナーや不動産の知識、Webマーケティングの基礎知識など幅広く、かなり細部まで網羅しています」

研修内容のほとんどが川合社長自ら考案した研修となっており、「WEB&マーケティング知識基礎」といった科目では、ドリル形式で100点満点を取らない限りクリアにならない仕組みとなっている。答えは社内の誰に聞いてもいいという「特例」はあるが、これがかなり難問となっており、「本当に答えがあるのか（笑）」と社内で言われるほどである。

だがこうした綿密な教育体制もあり、同社スタッフのIT・不動産双方の業界でオラウンダーとなっていくの

＼社員に聞く！／

プライベートでも仲良く遊べる環境が嬉しい

優秀な人材を育てるのは、何も研修制度だけではない。日々の仕事に打ち込める環境を提供することが大事だ。実際に働く社員たちは同社の環境についてどう思っているのか。3名の若手社員に話を聞いた。

—皆さんはここ3年の間に入社をされた方だとお聞きしました。同じキャリアで年齢も若い方が多い職場だと思いますが、働く環境についてはどう考えていますか。

並木 非常に重要な要素ですね。シースタイルでは、会社の近くに住むことで家賃を助成してもらえる制度があります。遠方から通う社員にとっては、仕事に集中してもらえる環境を作ってもらえることは非常にありがたいと思っています。

服部 会社では残業しないように配慮をしてくれていますが、とはいっても残業がま

ったくゼロということは有り得ない。そんな時に近くに家があれば、翌日の業務にも支障をきたしません。

小山 当社の社員は地方出身者も多いため、会社の近くに住んでいる人も多いため、休日もみんなで遊びに出かけたりするのですが、普段から気軽にみんなと顔を合わせる環境があるというのは嬉しいですね。

並木 最近は個人でパソコンを購入したのですが、会社から2万円の補助をいただきました。実務に必要なものまでサポート



写真左より、マーケティング部・並木達也氏、営業部・小山大地マネージャー、マーケティング部・服部盛昭氏

してくれる体制は本当に助かります。

小山 営業職はお客さんに提案するためのパソコンは必須ですからね。

服部 ほかに結婚や出産時のお祝い金であったり、自分の知人や友人を紹介して入社させた場合の採用協力金といったものもあります。人材育成同様、福利厚生面でもさまざまな意見を取り入れてくれる点は、他社にはない部分だと思います。